

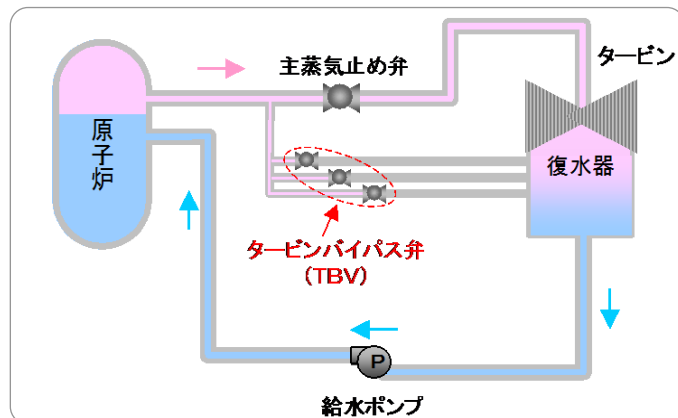
浜岡原子力発電所5号機 タービンバイパス弁の監視強化について

平成 21 年 8 月 7 日

対象号機	5号機（定格熱出力一定運転中） ：改良型沸騰水型、定格電気出力126.7万キロワット
発生日	平成21年8月6日
発生時の状況	<p>平成21年8月4日、中央制御室で盤面監視にあっていた運転員が、通常閉弁しているタービンバイパス弁(※1)(以下、「TBV」という。)の開度を示す記録計に、ごく僅かな開度指示があることを確認しました。</p> <p>詳細に調査したところ、平成21年7月30日頃から、TBV第3弁に、1日に2回程度の頻度で1%程度(約0.5mmの弁の動きに相当)の開度指示が出ており、残りの2弁(第1弁、第2弁)についても、同じタイミングで0.3%程度の開度指示が確認されました。</p> <p>これまでの調査では、TBVの開度指示に増加傾向はなく、関連する運転データにも異状は確認されていませんが、事象が継続しているため、平成21年8月6日午後6時より監視強化を図ることとし、引き続き、原因調査を進めていくこととしました。</p> <p>なお、本事象によるプラントの運転への影響はなく、安定運転を継続しております。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	「表2-1 原子炉の運転中に運転に関連する主要な機器の軽度な故障があったとき。」に該当します。

※1 TBVは、原子炉の起動時や停止時等に、原子炉で発生した主蒸気を、直接、復水器へ排気して、原子炉圧力を制御するために設置しています。

TBVには第1弁から第3弁までの3弁があり、開度要求に対して、第1弁から順番に開弁し、全てのTBVが開弁すると、通常運転時の約30%相当の主蒸気を復水器へ排気することができます。



以上